

経営比較分析表（令和2年度決算）

熊本県 苓北町

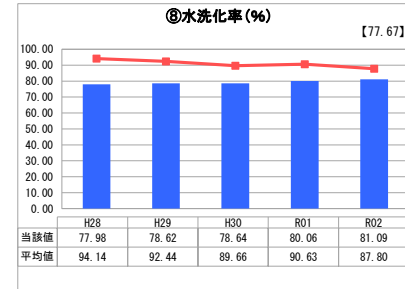
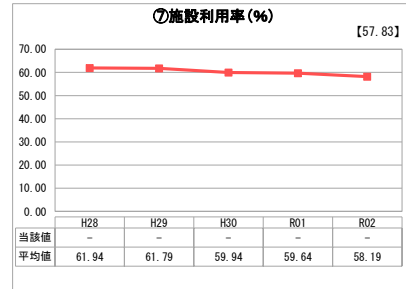
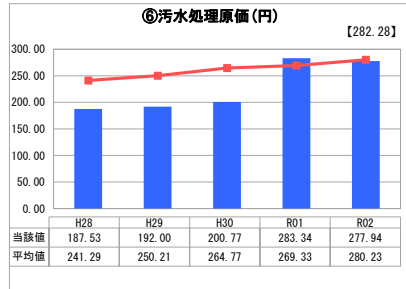
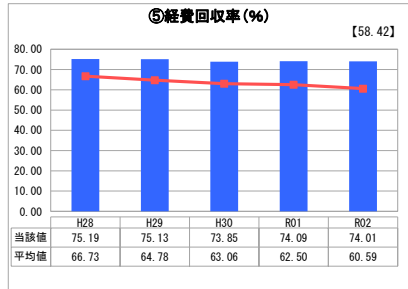
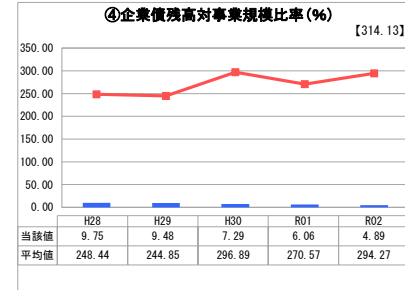
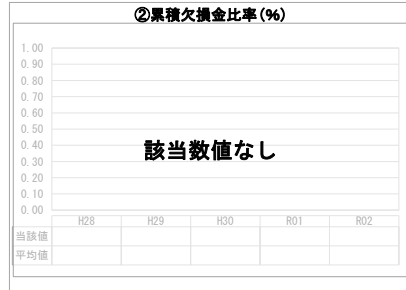
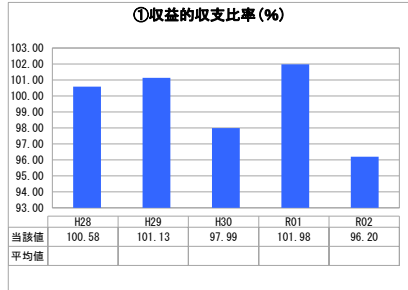
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定地域生活排水処理 | K2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) |
| - | 該当数値なし | 18.50 | 100.00 | 3,300 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 6,971 | 67.58 | 103.15 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 1,269 | 0.10 | 12,690.00 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、前年度と比較すると5ポイント以上減少している。一般会計繰入金を必要最低限に抑えたことと、起債の償還金額が増加したためである。

④企業債残高対事業規模費率は、類似団体平均値より下回っているが、起債の償還は一般会計繰入金で随っているのが現状である。

⑤経費回収率は、ほぼ横ばいで推移しており、類似団体平均値より上回っているが、100%に達していない。清掃及び保守点検の費用を現在の使用料収入で賄っていないのが現状である。

⑥汚水処理原価について、有収水量は増加しており、令和元年度と比較すると低下しているが、消費税が10%になったことで汚水処理費（清掃及び保守点検委託料）に影響し、高止まりとなっている。

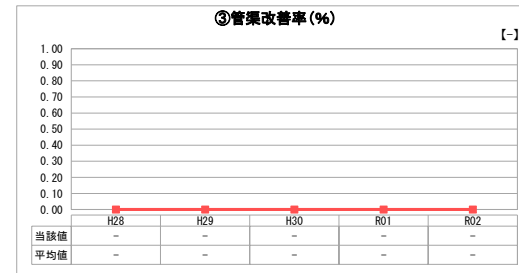
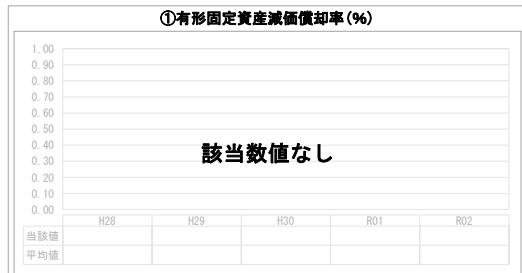
⑧水洗化率について、令和2年度は新規1件、単独処理浄化槽からの転換1件、汲取り便槽からの転換が1件の計3件の合併処理浄化槽を設置し、水洗化率の向上に努めた。

2. 老朽化の状況について

本町の特定地域生活排水処理事業は、平成10年から開始しており、それ以前に個人で設置され町へ移管された合併処理浄化槽も併せて維持管理をしている。プロワなどの周辺機器は、経年劣化により交換や修繕が多発しており、浄化槽本体からの軽度の漏水も年1回以上修繕している状況にある。

清掃や保守点検を適切に行い、異常の早期発見に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状では、使用料収入のみでは維持管理費を賄いきれておらず、基準外繰入が発生している状況にある。公営企業会計へ移行し、経営の「見える化」を図り、適正料金への見直しを行う。

合併処理浄化槽の整備については、苓北町循環型社会形成推進地域計画に基づき、循環型社会形成推進交付金と起債を活用し、苓北町浄化槽処理促進区域において順次整備を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。